

# ま ち の 話 題

## 伝承文化・お手玉遊び楽しむ お手玉遊び兵庫県大会を開催



個人戦で技を競う参加者

「お手玉遊び兵庫県大会」が5月29日、つるぎが丘公園体育館で県内外から約250人が参加してにぎやかに行われました。

お手玉のルーツと言われている「いしなんご」遊びが大屋地域で現在も継承されていることから、今回養父市で開催されました。午前中の個人戦では、「両手4個」や「片手2個」などレベルによって4つの部に分かれて技を競い合い、午後からは団体戦が行われ熱戦を繰り広げました。

また、特別演技として大屋地域のみなさんにより、実際に小石を使った「いしなんご」が披露され大会に花を添えました。

## 課題を解きゴールめざす

### やぶウォークラリー大会75組315人が参加

歩くことを通して健康増進とコミュニケーションづくりを図ることを目的とした「やぶウォークラリー大会」が5月29日、広谷小学校グラウンドを主会場に開催されました。同競技は2006のじぎく兵庫国体のデモンストレーションとしてのスポーツ行事で、今回はそのリハーサル大会としても行われたものです。

当日は、約5時のお走りさん健脚コースに42組156人が、約2時・5分のらくらくお散歩コースに33組159人が参加。みんなはコース図を見ながら歩き、各所に設置されたチェックポイントで課題に挑戦。その課題得点と設定された時間得点の合計で順位を競いました。



コース図を見つめスタートをきる参加者

## おおや高原で有機野菜初出荷 作業の無事と豊作誓う

5月16日、おおや高原で有機野菜の初出荷式が行われ、同高原有機野菜部会(大城戸哲也会長、9戸)ら関係者が参加しました。

同高原では、安心安全な野菜づくりに取り組んでおり、肥料には「おおや堆肥センター」のたい肥を基本に農家独自の工夫をほどこし、農薬は一切使っていません。今年は約135トンの出荷を見込んでいます。

この日は、部会員ら参加者がハウスでホウレンソウを収穫し、1年の作業の無事と豊作を誓いました。大城戸会長は「去年は災害で大きな被害を受けたが、遅れることなく初出荷を迎えられたことを嬉しく思う」と話されました。収穫されたホウレンソウは大屋町由良の野菜集出荷場で包装され出荷されます。ホウレンソウの出荷は年末まで続くとのこと。



ハウス内でホウレンソウを収穫する参加者